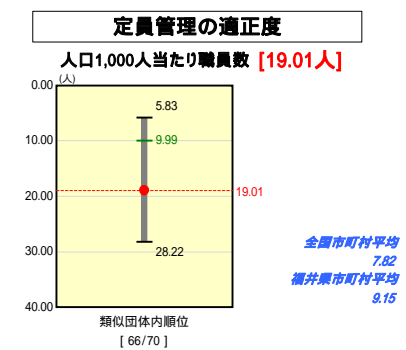
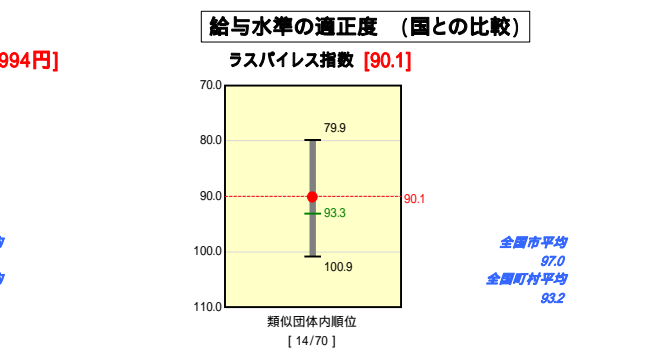
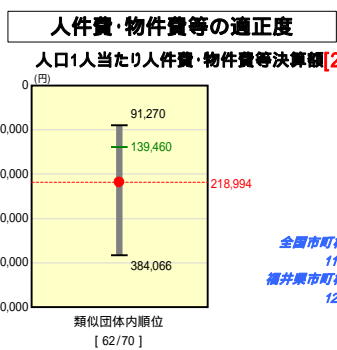
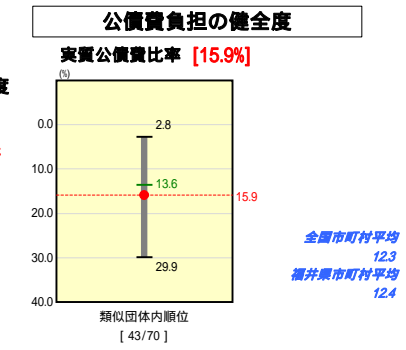
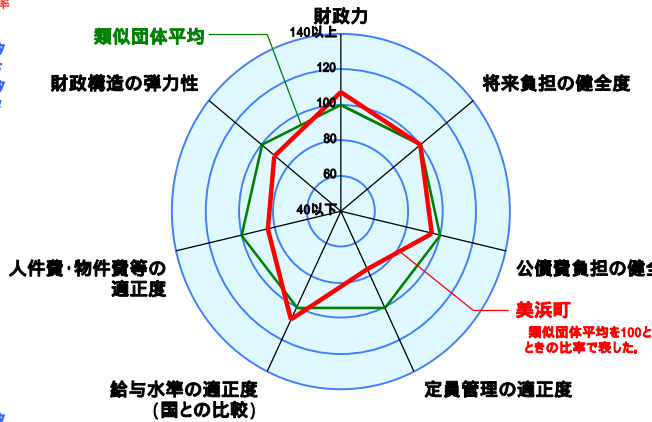
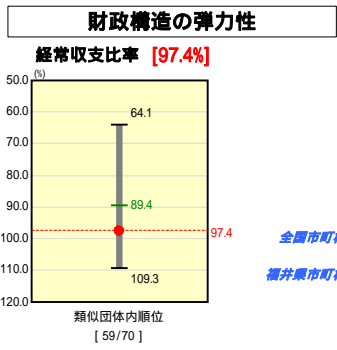
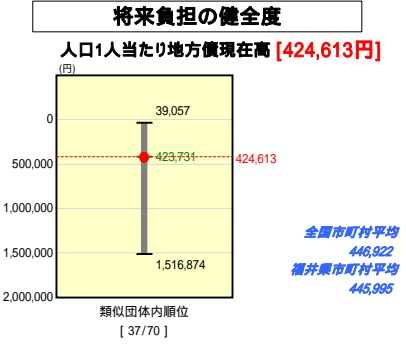
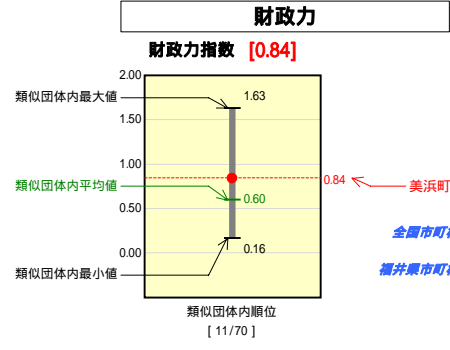


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 福井県 美浜町

人口	11,049	人(H20.3.31現在)
面積	152.32	km <sup>2</sup>
歳入総額	7,901,750	千円
歳出総額	7,107,921	千円
実質収支	774,200	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**  
大型事業所の固定資産税等の収収が大きいため類似団体の平均を上回っているが、町税収入は年々減収となり財政力指数も同様に低下している。平成17年度の指数0.879が、平成18年度は0.858、平成19年度は0.841と2年間で0.038も低下している。今後は、町税の増収に向け産業団地への新たな企業誘致と雇用の増を確保するほか、課税の適正・公平化、滞納整理の強化を図り歳入確保に努めていく。

**経常収支比率**  
経常経費に充当した一般財源は前年度に比べ約4,200万円減少しているが、それ以上に町税や地方譲与税等の経常一般財源が減収となっていることから高い数値となっている。今後、定員管理の適正化計画に基づいた人員削減をはじめ、費用対効果を重視した事務事業の行政評価を進めるなど経常経費の削減削減を図るほか、歳入面でも町税の増収に向けた産業団地への企業誘致等により、活力あるまちづくりを達成し平成24年度までに5%の低下を目標とする。

**ラスバイレス指数**  
類似団体を下回っており国や県等の給与制度に準拠しながら、今後も引き続き適正水準の維持に努める。

**実質公債費比率**  
公共下水道の整備による公営企業債充当繰入金やごみ処理施設等の整備による一部事務組合の地方債充当補助金の増加により前年度に比べ0.7ポイント増の15.9%となり平均を上回っている。今後は計画している事業を精査し借入額を抑制しながら適正水準を確保していく。

**人口1人当たり地方債現在高**  
類似団体と同水準であり、一般会計では今後大きな借入れを予定している事業はないことや元金償還以上の借入れは行わないよう抑制していることから、今後も健全な水準を保持していく。

**人口1,000人当たり職員数**  
地理的条件等により、保育園が多いことや原子力安全対策、地域改善対策等本町特有の行政需要から、類似団体平均を大幅に上回っている。現在、「第四次総合進行計画」に掲げた目標(平成27年度までに職員数を200人に削減)の達成に向け、積極的に定員の適正化を推進しているところである。具体的方策として、平成19年4月に行政組織の改編と保育所の再編(9・4)を行ったほか、平成20年度において事務事業の権限移行とともに、平成21年度においては行政評価制度を本格導入し、これらの結果等を踏まえ事務事業の縮減合理化と業務の民間委託を積極的に推進することとしている。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
前年度に比べ減少しているが、職員数及び公共施設数が多いことや、類似団体平均を大幅に上回っている。今後は、直営で行っている公共施設の統廃合や指定管理者制度の導入、定員適正化計画による人員削減によりコスト低減を図っていく。